

学校だより

6月号

運動会を終えて

校長 加納 一好

運動会は絶好の天気のもと、大勢の保護者や地域の皆様にご来校いただきました。子供たちへの温かなご声援をありがとうございました。

本校の運動会は校庭の状況から、シートを敷いて座って参観することや子供と一緒に弁当を食べることはできません。リボンを目印にしての入れ替えやベランダからの参観などご協力いただくことばかりです。会場の様々な場所ではPTAの役員や実行委員など多くの方がご支援くださいました。白金小学校の運動会は、学校だけでなく保護者や地域の皆様とともにあると再認識しました。運動会までの準備も含め、ありがとうございました。

児童の演技も立派でした。最も感動したのは、やはり六年生の組体操です。力を合わせて精いっぱい演技を披露しました。組体操は安全性が問題となり、東京都は都立学校で組体操を実施しないことにしました。本校でもタワーとピラミッドはやらず、完成度や集団の動きを重視した構成にしました。そうした制約がある中、立派にやり遂げた六年生に大きな拍手を送ります。

他の学年の演技もそれぞれに見応えがありました。一年生の「トライ！トライ！やってみよう」は色とりどりのポンポンを持ってかわいく踊りました。「フリフリ玉入れ」も好きです。二年生の『かわい』の向こう側へは、題名通りかわいだけではなく、ボールを取り入れた技が見られました。三年生の「ソイヤ」は、かつこいい音楽に合わせて、かつこよく表現できていました。背中も目立ちました。四年生の「春駒」。民舞もいいですね。「しろかね、しろかね」と声がよく出ていました。そして、五年生の「白金ソーラン」。腰をしっかりと落として力強さを感じました。側転もありました。五年生は六年生とともに係活動もがんばりました。すべての係が責任をもって役割を果たしました。白組が優勝しましたが赤組もがんばりました。赤白ともに達成感を得ることのできた運動会だったと思います。六月になるとプールでの学習が始まります。六年生は移動教室で箱根へ行きます。PTA子ども夏まつりもあります。またたくさんご協力いただくことがあります。どうぞよろしく願います。

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成二十九年五月三十一日

水泳指導について

角井 慎

本年度も、六月十九日(月)から水泳の学習が始まります。水泳は体全体を使った運動で、心と体を鍛える上では最もよい運動の一つです。

白金小学校では、以下の三つを目標として水泳の学習を行います。

- 一、水に慣れ、全身運動としての水泳を通して、健康な心身の育成をはかる。
- 二、自己の能力に適した課題をもって水泳に取り組み、技術の向上をはかる。
- 三、プールや水泳上の諸注意をよく理解し、安全に水泳ができる態度を養う。

水泳は、児童が心待ちにしている学習の一つです。しかし、油断をすると生命に関わる大きな事故につながってしまいます。学校では、高輪消防署の方に来ていただき、心肺蘇生法の研修を行います。万一来てて、水辺での事故に対し、チームでどのように動いていくかを教えていただきます。本年度も事故が起こらないように、教員一同万全の体制で指導にあたります。

保護者の皆様には、以下の点についてご協力をお願いいたします。

- ・健康診断の結果による治療を忘れず行ってください。現在治療中の病気や怪我は治してからでないで参加できません。
- ・いつも以上にお子さんの健康観察・体調管理を十分に行うようにしてください。(プールカードへの記入・捺印、朝ご飯はしっかりと食べる等)
- ・忘れ物がないか、記名されているか等、お子さんと一緒に確認をお願いします。

プールに入るには、多くの約束事を守らなくてはなりません。学校と家庭がしっかりと連携を図り、子供たちにとって楽しく実り多い水泳の学習となるようにしていきたいと考えます。

通学路点検・ふれあい月間

生活指導主任 花井 拓也

五月十二日に、通学路点検を行いました。当日は、高輪警察、港区学務課、高輪地区総合支所、各町会の方々、PTA校外生活委員、生活指導部担当教員で通学路を回りました。

児童が登下校する道路、歩道橋等を点検し、車の出入りの多いところも確認しました。

点検後には、今後の対策について警察や区の職員と話し合いをし、定期的なパトロール等をお願いしました。PTA校外生活委員の方々からは日頃の登下校の様子も伺うことができ、大変有意義な会となりました。子供たちにもルールを守り、安全な登下校ができるよう、今後も指導していきます。

さて六月は、ふれあい(いじめ防止強化)月間です。ふれあい月間は、六月、十一月、二月の年三回行っています。

本校では、毎月、学校生活アンケートを実施し、子供たちが困っていることがないかを確認していきます。六月と十一月のふれあい月間には、全員面接を実施し、子供たち一人一人から話を聞いたり、必要に応じて学級指導等をしたりしています。

その他の取り組みとして、各学級で心が温まる言葉を入れた、ふれあい標語を作成し、朝会で発表したり、玄関に掲示したりしています。

児童一人一人が友達や他学年の児童に対して、思いやりのある言動がとれるように、また、学級、学年、学校の一員としての自覚を高め、健全で豊かな心を育めるようにしていきます。